

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371601218		
法人名	(株)WELL		
事業所名	グループホーム しらゆり		
所在地	名古屋市天白区島田黒石716番地の4		
自己評価作成日	平成22年9月24日	評価結果市町村受理日	平成22年12月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	名古屋市千種区内山1丁目11番16号		
訪問調査日	平成22年10月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

散歩やリハビリなど体を動かしていただけるように努め、筋力低下防止や便秘防止等に繋がるよう取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年の目標として「利用者一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保」が挙げられ、具体的には「トイレのドアが閉められない所にカーテンを取りつける」という改善策であったが実施されていない。ただし「利用者に対する人格の尊重」については職員が適切に距離感を保ち支援に努めている好ましい関係が見られる。1階で筋力低下防止のためリハビリや毎日手や足を動かす体操を行っている。管理者が10月に交代したばかりで課題は多いが職員研修の充実を図り、よりよいグループホームを目指す熱意を感じ取ることはできる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念 「自由でゆっくりとゆっくりと」	職員の中で理念の真意を十分に理解していない人があるように察する。しかし利用者やゆっくりと時間に追われることなく、その人に合うケアサービスをしている場面もみられる。	「理念の意義を踏まえ、実践につなげる」の徹底は、大変困難なことと察するが、具体的な事例を挙げながら取り組まれ、よい成果が得られることを期待する。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	近所への散歩や、スーパーへの買い物、などに出かけている	町内会に入っており、回覧板は回ってくる。町内の行事には参加できていないが、近隣の喫茶店やスーパーに出かけた際に挨拶はできている。施設の周辺の掃除を心がけており地域の人には感謝されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人に向けて活かされるように努めたい		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告や話し合いを行いサービスの向上に努めているが、個人の意見を全て取り入れることは難しく感じている	運営推進会議は年6回開催している。出席者は利用者家族、地域住民代表、福祉関係有識者、職員となっている。内容はホームの活動報告、要望や意見交換となっている。喫茶店に行きたいとの声があり喫茶店に行っている。	区役所や地域包括支援センター、民生委員などに参加を呼びかけて、運営推進会議を通して、今まで以上に地域住民にホームへの理解と支援が得られる機会になることを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じ連絡調整している。	福祉に関することで、分からない事は電話で相談している。市役所や天白区主催の研修には参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていないが、玄関の施錠は昨年同様徹底している	身体拘束をしないケアや高齢者虐待のマニュアルはあり、それをもとに、ベッド柵で囲まないや、利用者に対してスピーチロックをしない等勉強はしている。	玄関の施錠は身体拘束にあたる。全職員で再度身体拘束をしないケアの取り組みを話しあい、何が身体拘束なのか、何故いけないのか、具体的な勉強会をして共有されることを望む。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングで虐待についての話し合いの場を設け、防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業者や成年後見人制度について理解している職員は少ない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書と口頭により理解・納得を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部者へ表す機会は設けていないが、利用者、家族等の意見要望は常に聞く様にし反映させるよう努めている。	家族の来訪は月1～4回ある。月1回はホームの方から家族に日常の生活ぶりなど連絡しており、意見や要望は言いやすい雰囲気はできている。もらった要望は職員で話し合い改善できるものはしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に何度かミーティングを行っている	職員は管理者に会議やミーティングで意見は言いやすい関係ができている。意見や要望は代表者や管理者に伝わり改善できるものは改善して運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境条件の整備は常に行われている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	力量を把握し、研修の機会の確保、働きながらのトレーニングを進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員の同業者との交流機会はあまりない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人とのコミュニケーションの中で良い関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時等に何でも話せる関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族等の意向を理解し、対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に掃除や洗濯、食事準備などを行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人との絆を大切にし、その関係を築けるように		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大幅な職員の異動は控え、信頼関係を強めている	ホームに友人が来訪したり、入居前の理美容院に家族と外出している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が関わり合えるよう、レクレーション等を通じて努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて対応している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティングや申し送りなどの情報交換を密にし、本人の意向の把握に努めている	利用者の自尊心を尊重し、言葉のかけ方に気を配り、不快な思いをさせない支援に努めている。また、ゆとりを持って利用者に関われるよう心がけている。	利用者ひとりひとりがどんな生活を望み、何が出来るかを、日々の生活から汲み取り本人本位の支援に期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	回想法などを用いて聞いたり、御家族に生活歴を聞くなど行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルサイン、生活のリズムを把握しカンファレンスによって共有するよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	それぞれの意見や意向などその都度記録している	月に1回カンファレンスを実施しながら職員同士で情報の共有をしている。介護計画を家族に確認してもらい、要望や抱えている問題についても、計画に反映させるようにしている。	介護計画における評価を定期で実施し、その結果を次の計画に反映させ、よりよい支援の提供に繋げていきたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ミーティングを行い個々の問題点や変化を話し合っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度対応していく		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出時など地域の方にあいさつをするなど交流を持てるよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診をしている	月に2回協力医の往診がある。協力医以外の受診は基本的には家族での対応をお願いしているが、家族の状況や利用者の状態に応じては職員が対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師との連携に努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係との情報交換等に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に話し合いを設けている	入居の際、家族と利用者に対してホームで職員ができる事とできない事を説明している。また、利用者の状態変化に応じて、その都度家族と協力医を交えながら、支援の方向性を決めるようにしている。	新任の職員も含め、重度化や終末期に向けての研修や勉強会を行い、ホームでの支援方針の共有と徹底を期待している。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会等にて緊急時の対応について学んでいる		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との協力体制を築いている	年に2回、天白区の消防署立ち会いのもと、避難訓練を実施している。また緊急時に備え、職員がAEDや消火器がすぐに見えるよう、使用法の研修を行っている。	緊急などの災害に備えて、数日分の食料などの備蓄品をホームに常備しておく。また、訓練を実施する際に、地域の人も参加してもらえるよう呼びかけの機会や方法について具体化されることを願っている。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりとの距離感を考え対応に努めている。	職員と利用者の距離感を適切に保ち、慣れ合いにならない支援に努めている。書類や個人情報の取り扱いも、保管場所を決め気をつけている。	トイレ介助や言葉かけをする時の声の大きさなど、利用者の立場に立って、誇りやプライバシーを損ねない支援に努めることを期待している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクや日常生活で自己決定の場を提供している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望にそえるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えなどは、本人の希望を聞き行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは感染予防などの為、ほぼ職員で行っているが、食事セッティングなどは一緒に行っている	利用者の希望のメニューや季節の旬の食材を取り入れ、毎月献立を作っている。また定期で実施するおやつ作りや、おせち料理などの行事食は利用者に大好評である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じた支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	状況に合わせた対応をし、自立に向け支援している	排泄チェック表で個々のリズムを把握し、トイレ誘導や言葉かけを行っている。トイレでの排泄を基本として、できる限り失禁がないよう、日々の観察をしっかりと行うよう心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩などによる便秘予防を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	決まった時間に入浴している	週に2回、午後に実施している。ひとりひとりの入浴時間を十分にとり、ゆっくりとくつろいで入ってもらえるよう努めている。入浴を拒否する利用者には、時間帯を変えてみるなど工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に合わせて対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	状態の変化に気付けるよう努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人に合わせた役割分担をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族等と協力し支援している	時間が許せる範囲で、利用者と一緒に近所へ散歩に出かけたり、喫茶店やお祭りなどに参加している。	利用者の行きたい所や思い出の場所などの情報を、日々の支援から汲み取り、今までの習慣や楽しみに合わせた外出支援ができるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に金庫保管だが、必要にに応じ対応している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば行っている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を摂り入れられるような作品を、レクにて作成している	利用者が快適に過ごすことができるよう、ホーム内は綺麗に整頓され共用部も掃除が行き届いている。居間には敬老会など行事の写真が飾られ、温かい雰囲気を感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	机の配置を目的に応じて移動し、居場所の工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に持ち込みは自由としている	ホーム全体が白を基調とした内装で、部屋全体が明るい感じである。利用者の思い出の写真や自分で描いた絵などが飾っており、それぞれが自分の部屋として心地良く過ごせる空間になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リスクマネジメントをし安全に生活できるよう工夫等している		

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601218
事業所名	グループホームしらゆり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 昨年より地域のハンドベル、手品、歌などボランティアの受け入れが増えている。自治会に加入しており、回覧版は回ってくる。近隣の散歩や買い物、喫茶店など出向くことはあり地域の人と顔馴染みとなっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回開催している。出席者に市役所職員、包括支援センターの職員は参加していない。今後は次回12月の運営推進会議にはお願いする予定である。会議で出された要望でレクリエーションを増やしてはどうかといわれ、利用者の出来るおやつ作りなどを行い大変評判が良かった。レクリエーションの範囲が広くなり充実してきている。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市町村主催の研修には参加している。管理者が交代したばかりで、相談はよくしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホーム便りは発行していないが、家族には毎月1回利用者の生活ぶりや身体状況を書面で送っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

(別紙4(2))

事業所名 グループホームしらゆり

目標達成計画

作成日: 平成22年12月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の真意を十分に理解しているとは言えない部分もある。	運営理念「自由で…ゆっくりとゆっくりと」の意義を踏まえ実践する。	・環境整備を行ない利用者様のペースで生活が行なえるよう努める。(掃除チェック表やレクリエーション表を作成し、毎日の環境整備を維持し継続し気持ちよく過ごす) ・車イス等の定期的な点検を行ない安全を確保するよう取り組む。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。